

献体のお預かりから遺骨返還まで

1. ご遺族を代表される方が大学に連絡してください

平日（月～金 8:30～17:00） 白菊会事務局 Tel 053-435-2120

平日の夜間（17:00～23:00） 病院当直 Tel 053-435-2616

土曜日・日曜日・祝日（8:30～23:00）

[深夜の場合は、翌朝で結構です]



2. 大学での手続きに必要な書類等を用意してください

① 死亡診断書 1通 ※写し(コピー)でかまいません。

② 火葬許可証 「死亡診断書」と「死亡届」を市町村役場へ提出し、交付を受けてください。

※火葬場の欄は空欄としてください。

※こちらは、原本を大学にご提出いただきます。

③ 印鑑(認印) 「解剖に対する遺族の承諾書」作成のため



3. 大学からご自宅・病院・斎場にお迎えにあがります

① 告別式、お別れ会を済ませてからでも結構です。

② お迎えの日時・場所、棺の要・不要をお知らせください。

③ 暑い時季や安置が24時間を超えるようなときは、遺体をドライアイスで保冷してください。

ドライアイスは、直接遺体に触れないよう首の両横、腹部の両横に置きます。

④ 毛髪や爪を残していただいても結構です。

金属類・指輪等の装身具はご遺体からお取り外しいただき、棺に入れ不要をお願いいたします。

お花などは、ご遺体に影響を及ぼさないためにも、お取り出ししていただけると有難いです。

お手紙などは、お入れいただいても構いません。その他、遺品等を棺に入れられる場合は、大学へご連絡いただく際にご相談願います。

⑤ お伺いした際、事務手続きに10～15分程度かかります。

※手術手技トレーニングでもご遺体を使用することに同意していただいている方は、お引き取り後、解剖学実習あるいは手術手技トレーニングのいずれかでご使用するかを、大学にて決定いたします。

※事故や伝染病(結核・肝炎・HIV等)で亡くなった場合など状況によってはお預かりできないことがあります。

※遠方の場合、また大学への献体状況など、事情によりお預かりできないこともあります。

※裏面に続きます。

(2023. 08)

4. 防腐処置・安置

大学到着後、直ちに防腐・固定の処置をし、保管室で解剖学実習又は手術手技トレーニングまで安置いたします。



5. 解剖体慰霊祭

解剖体慰霊祭(無宗教)を例年10月に大学内(本学体育館)にて執り行っております。

ご遺族には代表者の方へ事前にご案内しますので、ご出席ください。



6. (1) 解剖学実習

6. (2) 手術手技トレーニング

① ご遺体は、学生の教育のための解剖学実習に役立てさせていただきます。

② 解剖学実習は、毎年5月～7月、9月の間に行います。お預かりした順に実施しておりますが、数年間の猶予をいただくこととなります。

① 現役医師の手術手技向上のためのトレーニングに役立てさせていただきます。

② 毎年秋から冬に行います。お預かりした順に実施しておりますが、数か月の猶予をいただくこととなります。



7. 火葬・ご遺骨返還

① 浜松市内の斎場で遺族立会いのもとに火葬し、その場で遺骨をお返しします。

② 文部科学大臣並びに学長の感謝状を併せてお渡します。

献体についてご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。

国立大学法人浜松医科大学 白菊会事務局

TEL : 053-435-2120

e-mail : sss@hama-med.ac.jp

(2023.08)